

2019 年度第一回総会議事録

日時；2019 年 6 月 23 日、午後 2 時半～5 時

会場；サンアビリティーズ城陽、会議室

出席者；吉田進、中ノ瀬啓作、石田直章、田村祥、吉田寿子、城隆志、高橋省吾、三浦浩、宇城元、福嶋康人、竹田将広（以上 11 名）

委任出席；仲博幸、岡田有史、大堂秀樹（委任、宇城）、中元伊知郎、瀬尾桂一（以上 5 名）

以上出席 16 名、16/21 出席で定足数を満たしており、総会成立

議長；理事長（吉田進）

議事録署名人；三浦浩、城隆志

議題

1、決議事項

① 2018 年度決算

田村理事より 2018 年度の決算説明・報告がなされ、満場一致で承認された。

＊資産台帳については、償却済みのものも掲載すべきではないかという意見が宇城正会員より出され、これが承認され、資産台帳については償却済みのものも記載することとなった。

＊支払い手数料が多すぎるのではないか、受益者負担で送金手数料も選手、役員が負担する様にし、手数料軽減を図るべきであるという意見がだされた。田村理事より、仕分けの問題でこの支払手数料の中には、写真家への支払いや社会保険料労務士さんへの手数料支払いが含まれていることが説明され、今後、税理士と仕分けを明確にしていくこととなった。送金手数料負担先については、引き続き事務局で検討することとなった。

② 2019 年度予算

田村理事より、2018 年度予算・実績、及び 2019 年度予算の対比表を使って 2019 年度予算の説明があり、満場一致で承認された。

＊2018 年度と比べて、強化費が半減、また、アジア大会がないことから、全体の予算が半分になったことが説明された。

＊予算には取立て計上してないが、イベント、メディア露出が増えて来ており、これによる売上高増が期待出来る旨、説明があった。

2、報告事項

- ① 事務局長より、合宿ルール、旅費規程、合宿報告書が理事会で承認されたことが報告された。合宿では、宿泊申し込みの徹底や、交通手段が車の場合は事前に報

告すること、更に合宿終了後一週間以内に報告書を必ず提出することが、通知された。

② 各種規程の見直し（事務局長）

ガバナンスコードが本年度中に設定されることから、現在の連盟の規定を見直さなければならないことが報告された。

③ 世界選手権について（事務局長）

7/12 開催の世界選手権は、本年度最大の行事であり、連盟選手一同、世界に向けてトレーニングに励んでいる。また、この大会の成績が次年度の助成金に係るので、記録もさることながら、順位重視で臨んで欲しい旨、説明があった。

④ テストイベントについて（理事長）

進捗状況が報告された。日本選手団は、28 名参加、日本からも国内審判員 8 名参加予定、東京 2020 組織委員会と協力して、大会を開催することが報告された。

⑤ J スター（理事長）

第 3 期の J スターが始まることが報告された。

今回は、選手の発掘のみならず育成する事も連盟の仕事となる為、予算は未定だが、従来より慎重な対応が求められる旨、説明があった。

⑥ その他（意見交換・確認）

*ユニフォームについては新しくデザインせず、前回承認されたデザインを使用。

*個人情報に関する連絡の遣り取りは、世界選手権等、複数に参加しているライングループは使用せず、個別メールで行う。

*連盟関係者の個人的物販に関して、大会時の物販については、現在、会場の規制により届け出のない物販は禁止となっている。一方、それ以外のケース（合宿・練習会等）での個人的物販が散見されるとの報告があり、基本的にはあまり好ましくないもので、先ずは中ノ瀬理事が個別に注意喚起することとなった。事態が終息しない場合は、連盟内でもルール化を検討する。

*合宿申し込み表について、みんなが見られるようにしてほしいという意見が出されたが、個人情報の記載もあることから、全体は開示しないという現状のやり方を維持し、その代わり合宿参加者については、締め切り 1 週間前にリマインドをするときに、別途現在の参加者を表示することとなった。

以上審議・報告及び意見交換が終了したので、議長より閉会宣言がなされた。

議事録署名人

三浦浩

印

城隆志

印

議長 吉田進

印